

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38457	
事業名	父親による子育て推進費						
評価担当課	所属名	子)子育て支援 子育て支援課					
	課長名	江積	担当者名	米野	電話番号	211-2988	
施策名	主	子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	父親と子どもが子育てサロンに来る機会の創出と母親の育児負担の軽減を目指す。				
		長期	父親の子育て参加に関する意識改革・啓発、参加機会が充実することで、母親の育児負担の軽減と不安感の解消につながる事が期待される。				
	取組内容	父親の積極的な子育てを推進するために、父親の子育て参加に関する意識改革・啓発や子育てに取り組む意欲を向上させるための情報発信等を行う。					
	実施結果	感染症対策のため手段を変更し、父親の子育て参加に関する意識改革・啓発のため、ポスターとCM動画を作成し、さっぽろ子育て情報サイトでの情報発信を行った。					
事業実施における工夫点	父親が子育てについて考えてもらうきっかけ作りを促進するようなデザインを選定し、情報発信を行った。						
対象者	就学前の子どもを持つ父親			開始	令和2年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	多くの政令市でも啓発冊子の配布のほか、講座の開催などに取り組んでいる。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	1,568	2,000	2,014	2,300	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.4	0.3	0.0	0.3	
人件費	2,880	2,160	0	2,160	
計(事業費+人件費)	4,448	4,160	2,014	4,460	
事業費の内訳	令和3年度決算	決算額 2,014千円 (内訳) ・非常勤職員報酬 13千円 ・費用弁償 1千円 ・保険料 1千円 ・ポスター・CM動画制作費 2,000千円			
	令和4年度予算	予算額 2,300千円 (内訳) ・非常勤職員報酬 50千円 ・費用弁償 3千円 ・子育て講座委託料 2,247千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	父親のための子育て講座の参加組数		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
		100	0	100
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	感染症対策のため手段を変更し、父親による参加に関する意識改革・啓発のため、ポスターとCM動画を作成し、さっぽろ子育て情報サイトでの情報発信を行った。 次年度以降も感染症の状況に対応しつつ、より効果的な手法の検討を行う。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	事業規模は適切であったと考える。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	感染症対策を行いながら実施できる手法として適切であったと考える。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	市の公式ページでの情報発信は信頼性が高く、また、外出自粛期間にも情報を入手できたため、ニーズに対応できたと考える。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	感染症対策を講じながら父子同室講座を開催し、さっぽろ子育て情報サイトのコンテンツへの誘導及び当該事業の周知を行う必要がある。			
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	次年度の事業展開に向けてコンテンツの充実が図れたため。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 今後の感染症の状況に対応しつつ、事業の周知や父子同室講座の実施を行う。 父子同室講座の実施回数を増やす。		
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 事業周知及び父子同室講座の実施回数を増やすにあたり、委託料を確保する。		見直し効果額 4,400 千円